



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月28日

上場会社名 バリューコマース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2491 URL <https://www.valuecommerce.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 最高経営責任者 (氏名) 香川 仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 遠藤 雅知 TEL 03-5210-6688  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 2021年8月31日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績 (2021年1月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	16,113	10.9	3,701	24.0	3,741	23.3	492	△75.9
2020年12月期第2四半期	14,524	18.0	2,984	25.8	3,034	27.4	2,039	28.3

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 484百万円 (△76.2%) 2020年12月期第2四半期 2,031百万円 (27.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	15.24	15.23
2020年12月期第2四半期	63.14	63.08

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	21,304	14,356	67.4	444.17
2020年12月期	22,474	14,676	65.3	454.13

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 14,352百万円 2020年12月期 14,670百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	16.00	—	25.00	41.00
2021年12月期	—	17.00	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	—	—	26.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,700	12.1	7,400	19.0	7,500	19.6	3,000	△29.7	92.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 2 Q	34,471,000株	2020年12月期	34,471,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期 2 Q	2,157,655株	2020年12月期	2,165,655株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 2 Q	32,307,334株	2020年12月期 2 Q	32,301,193株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目、その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第2四半期連結会計期間及び当第2四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しております。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位で表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、依然として厳しい状況にありました。今後については、ワクチン接種が促進されていくことに伴い、徐々に景気の持ち直しが期待されているものの、同感染症の収束が見通せないなか、いまなお先行きは不透明な状況が続いております。

こうした環境の下、当社グループは、顧客であるコマース事業者のパフォーマンス（流通総額）を最大化するため、効果的なマーケティングソリューションを提供することに注力した結果、連結経営成績は次のとおりとなりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、成果報酬型広告「アフィリエイト」について、就職分野及び旅行等の外出を伴う分野が引き続き低調であるものの、金融分野等が堅調に推移したことから、ほぼ前年並みとなりました。

一方、オンラインモールのストア向けサービスについて、EC需要の増加及びオンラインモールが3月に実施した大型キャンペーンへの対応が奏功したことにより、前年同四半期比で増収となりました。その結果、16,113百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。

販売費及び一般管理費は、5月に実施した本社移転に伴う一時的な費用を計上した一方で、第1四半期において、宿泊施設を顧客とするダイナテック株式会社に係る資産を減損したことに伴い、当第2四半期において、のれん償却費及び減価償却費が減少しました。その結果、2,648百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。

営業利益は、売上高の推移により、3,701百万円（前年同四半期比24.0%増）となりました。

経常利益は、営業外収益に投資事業組合運用益33百万円を計上したこと等により、3,741百万円（前年同四半期比23.3%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、492百万円（前年同四半期比75.9%減）となりました。

これは、第1四半期において、宿泊施設を顧客とするダイナテック株式会社について、新型コロナウイルス感染症流行の長期化により、同社のWeb事業（宿泊予約システム）の将来の収益見込みを見直したことに伴い減損損失2,406百万円を特別損失に計上したこと及び法人税等751百万円を計上したこと等によるものであります。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間より、組織の名称変更に伴い、従来「マーケティングソリューション事業」「ECソリューション事業」としていた報告セグメントの名称を、「マーケティングソリューションズ事業」「ECソリューションズ事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

#### ① マーケティングソリューションズ事業

マーケティングソリューションズ事業は、コマース事業者のECサイトへの「集客」を軸とするソリューションを提供する事業です。主要なサービスは、成果報酬型広告「アフィリエイト」です。

当第2四半期連結累計期間におきましては、「アフィリエイト」について、就職分野及び旅行等の外出を伴う分野が引き続き低調であるものの、金融分野等が堅調に推移したことから、ほぼ前年並みとなりました。この結果、セグメント売上高は7,900百万円（前年同四半期比0.7%減）、セグメント利益は1,487百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。

#### ② ECソリューションズ事業

ECソリューションズ事業は、コマース事業者のECサイト上での「販売促進」を軸とするソリューションを提供する事業です。主要なサービスは、オンラインモールのストア向けCRMツール「STORE's R∞（ストアーズ・アールエイト）」及びクリック課金型広告「ストアマッチ」です。そのほか、ECサイト運営支援「B-Space」及び連結子会社であるダイナテック株式会社（宿泊施設向けに情報システムを開発・提供）を含みます。

当第2四半期連結累計期間におきましては、オンラインモールのストア向けサービスについては、EC需要の増加及びオンラインモールが3月に実施した大型キャンペーンへの対応が奏功したことにより、前年同四半期比で増収となりました。

また、第1四半期において、宿泊施設を顧客とするダイナテック株式会社について、新型コロナウイルス感染症流行の長期化により、同社のWeb事業（宿泊予約システム）の将来の収益見込みを見直したことに伴い減損損失2,406百万円を特別損失に計上しました。当該減損処理に伴い、当第2四半期において、のれん償却費及び減価償却費が減少しました。

この結果、セグメント売上高は8,212百万円（前年同四半期比25.1%増）、セグメント利益は3,034百万円（前年同四半期比33.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は21,304百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,170百万円減少いたしました。

流動資産は19,148百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,486百万円増加いたしました。これは、主に受取手形及び売掛金が335百万円減少したものの、現金及び預金が1,740百万円増加したことによるものです。

固定資産は2,156百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,656百万円減少いたしました。これは、主にソフトウェアが1,360百万円、のれんが516百万円、顧客関連資産が701百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は6,947百万円となり、前連結会計年度末と比べて850百万円減少いたしました。

流動負債は6,867百万円となり、前連結会計年度末と比べて717百万円減少いたしました。これは、主に買掛金が253百万円、未払法人税等が373百万円減少したことによるものです。

固定負債は79百万円となり、前連結会計年度末と比べて133百万円減少いたしました。これは、その他固定負債が56百万円増加したものの、繰延税金負債が189百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は14,356百万円となり、前連結会計年度末と比べて319百万円減少いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により492百万円増加したものの、利益剰余金が剰余金の配当により807百万円減少したことによるものです。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は13,162百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,740百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は2,668百万円（前年同四半期は2,468百万円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益が1,243百万円であり、プラス要因として、減価償却費が495百万円、のれん償却額が58百万円、減損損失が2,406百万円であったものの、マイナス要因として、仕入債務の減少額が251百万円、法人税等の支払額が1,416百万円であったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は123百万円（前年同四半期は942百万円の使用）となりました。これは、主に投資事業組合からの分配による収入が135百万円であったものの、有形固定資産の取得による支出が125百万円、無形固定資産の取得による支出が138百万円であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は805百万円（前年同四半期は611百万円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払額が804百万円であったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年4月26日の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました2021年12月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,422	13,162
受取手形及び売掛金	4,420	4,084
未収入金	1,407	1,472
差入保証金	310	308
その他	105	126
貸倒引当金	△3	△5
流動資産合計	17,662	19,148
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	147	135
工具、器具及び備品(純額)	93	102
リース資産(純額)	26	23
有形固定資産合計	267	262
無形固定資産		
ソフトウェア	2,095	735
ソフトウェア仮勘定	94	34
のれん	698	182
顧客関連資産	937	235
その他	10	8
無形固定資産合計	3,836	1,197
投資その他の資産		
投資有価証券	583	470
差入保証金	9	—
繰延税金資産	96	209
その他	20	18
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	708	696
固定資産合計	4,812	2,156
資産合計	22,474	21,304

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,749	2,495
未払金	2,458	2,539
未払法人税等	1,479	1,106
賞与引当金	28	27
その他	869	698
流動負債合計	7,585	6,867
固定負債		
繰延税金負債	189	—
その他	23	79
固定負債合計	213	79
負債合計	7,798	6,947
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,728	1,728
資本剰余金	1,164	1,167
利益剰余金	12,113	11,798
自己株式	△529	△527
株主資本合計	14,478	14,167
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	192	184
その他の包括利益累計額合計	192	184
新株予約権	5	4
純資産合計	14,676	14,356
負債純資産合計	22,474	21,304

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	14,524	16,113
売上原価	8,858	9,763
売上総利益	5,666	6,350
販売費及び一般管理費	2,681	2,648
営業利益	2,984	3,701
営業外収益		
アフィリエイト報酬精算益	4	1
投資事業組合運用益	45	33
その他	2	7
営業外収益合計	52	41
営業外費用		
為替差損	0	0
その他	2	1
営業外費用合計	2	1
経常利益	3,034	3,741
特別利益		
子会社清算益	4	—
特別利益合計	4	—
特別損失		
減損損失	—	2,406
システム障害対応費用	3	—
その他	—	90
特別損失合計	3	2,497
税金等調整前四半期純利益	3,035	1,243
法人税、住民税及び事業税	1,077	1,050
法人税等調整額	△81	△298
法人税等合計	996	751
四半期純利益	2,039	492
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,039	492
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△8
その他の包括利益合計	△7	△8
四半期包括利益	2,031	484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,031	484
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,035	1,243
減価償却費	339	495
のれん償却額	147	58
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	1
子会社清算損益(△は益)	△4	—
受取利息	△0	△0
支払利息	0	—
投資事業組合運用損益(△は益)	△45	△33
減損損失	—	2,406
システム障害対応費用	3	—
売上債権の増減額(△は増加)	866	335
仕入債務の増減額(△は減少)	△552	△251
未収入金の増減額(△は増加)	△4	△64
未払金の増減額(△は減少)	△329	78
その他	△9	△185
小計	3,455	4,084
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△0	—
法人税等の支払額	△986	△1,416
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,468	2,668
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△38	△125
無形固定資産の取得による支出	△433	△138
投資有価証券の取得による支出	△33	—
子会社の清算による収入	14	—
投資事業組合からの分配による収入	92	135
差入保証金の回収による収入	0	5
差入保証金の差入による支出	△7	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△537	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△942	△123
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の処分による収入	1	3
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△611	△804
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△611	△805
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	914	1,740
現金及び現金同等物の期首残高	7,862	11,422
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,777	13,162

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I. 前第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	マーケティング ソリューションズ事業	ECソリューションズ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,959	6,565	14,524	—	14,524
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,959	6,565	14,524	—	14,524
セグメント利益	1,403	2,278	3,682	△697	2,984

(注) 1. セグメント利益の調整額△697百万円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、株式会社B-SLASHを連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「ECソリューションズ事業」において、1,210百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II. 当第2四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	マーケティング ソリューションズ事業	ECソリュー ションズ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,900	8,212	16,113	—	16,113
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,900	8,212	16,113	—	16,113
セグメント利益	1,487	3,034	4,521	△820	3,701

(注) 1. セグメント利益の調整額△820百万円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織の名称変更に伴い、従来「マーケティングソリューションズ事業」「ECソリューションズ事業」としていた報告セグメントの名称を、「マーケティングソリューションズ事業」「ECソリューションズ事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメントの名称に基づき作成したものを開示しております。

## 3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、ダイナテック株式会社の将来の収益見込みを見直したことにより、「ECソリューションズ事業」において減損損失を認識し、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「ECソリューションズ事業」において、2,640百万円減少しております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。